

除菌効果

抗菌力試験結果 I (VRE／肺炎桿菌／レジオネア／リステリア)

試験菌	対象	生菌数(/ml)			
		開始時	15秒	30秒	1分
VRE	検体		<10	<10	<10
	対照	5.6×10^6	-	-	5.7×10^5
肺炎桿菌	検体		<10	<10	<10
	対照	4.0×10^5	-	-	4.1×10^5
レジオネラ	検体		<100	<100	<100
	対照	3.6×10^6	-	-	4.3×10^6
リステリア	検体		<10	<10	<10
	対照	5.2×10^5	-	-	3.3×10^5

抗菌力試験結果 II (緑膿菌／サルモネラ／黄色ブドウ球菌／MRSA)

試験菌	対象	生菌数(/ml)			
		開始時	15秒	30秒	1分
緑膿菌	検体		<10	<10	<10
	対照	7.7×10^5	-	-	6.7×10^5
サルモネラ	検体		<10	<10	<10
	対照	6.8×10^5	-	-	5.5×10^5
黄色ブドウ球菌	検体		90	<10	<10
	対照	4.9×10^5	-	-	4.0×10^5
MRSA	検体		<10	<10	<10
	対照	4.3×10^5	-	-	4.8×10^5

抗菌力試験結果 III (表皮ブドウ球菌／レンサ球菌／腸炎ビブリオ)

試験菌	対象	生菌数(/ml)			
		開始時	15秒	30秒	1分
表皮ブドウ球菌	検体		3.7×10^4	<10	<10
	対照	8.9×10^5	-	-	7.7×10^5
腸炎ビブリオ	検体		<10	<10	<10
	対照	6.3×10^5	-	-	5.9×10^5

抗菌力試験結果 IV (O-157／ノロウイルス)

試験菌	対象	生菌数(/ml)			
		開始時	15秒	30秒	1分
大腸菌O-157	検体		<10	<10	<10
	対照	6.5×10^5	-	-	1.0×10^5
ノロウイルス (ネコカリシウイルス)	検体		<1.5	<1.5	<1.5
	対照	6.5	-	-	6.0

①人体に影響を及ぼす食中毒菌・耐性菌・ノロウイルスなどに対し、噴霧後15秒から1分以内に、対象物の構成タンパクを不活性化(殺菌)させることができた。

②セレウス(芽胞)・枯草菌・カビ・酵母には、あまり効果がなかった。

③安全性試験(急性及び眼・皮膚の刺激性)においては、人体への影響が全くないことが実証された。

抗菌力試験結果 V (パルボウイルス／コロナウイルス／インフルエンザウイルス)

犬パルボウイルスに対する不活化効果試験

試験群	試験の 繰り返し	感作時間とウイルス含有量の推移		
		0	1	3(分)
対照群	1	5.50	6.25	5.75
	2	5.50	5.25	5.50
	3	6.00	6.000	5.75
	平均値	5.7	5.8	5.7
10倍希釈試験液	1	2.75	≤ 1.50	≤ 1.50
	2	3.50	≤ 1.50	≤ 1.50
	3	3.00	≤ 1.75	≤ 1.50
	平均値	3.1	≤ 1.6	≤ 1.5
	LRV	2.6	≥ 4.2	≥ 4.2
15倍希釈試験液	1	3.00	≤ 1.50	≤ 1.50
	2	3.75	≤ 1.50	≤ 1.50
	3	3.50	≤ 1.50	≤ 1.50
	平均値	3.4	≤ 1.5	≤ 1.5
	LRV	2.3	≥ 4.3	≥ 4.2

ウイルス含有量は、試料1mlあたりの値を対数変換して記載した。

豚伝染性胃腸炎ウイルス（コロナウイルス）に対する不活化効果試験

試験群	試験の 繰り返し	感作時間とウイルス含有量の推移		
		0	1	3（分）
対照群	1	5.50	5.00	5.25
	2	5.50	5.50	5.50
	3	5.25	5.25	5.75
	平均値	5.4	5.3	5.5
10倍希釀試験液	1	≤1.50	≤1.50	≤1.50
	2	≤1.50	≤1.50	≤1.50
	3	≤1.50	≤1.50	≤1.50
	平均値	≤1.5	≤1.5	≤1.5
	LRV	≥3.9	≥3.8	≥4.0
15倍希釀試験液	1	≤1.50	≤1.50	≤1.50
	2	≤1.50	≤1.50	≤1.50
	3	≤1.50	≤1.50	≤1.50
	平均値	≤1.5	≤1.5	≤1.5
	LRV	≥3.9	≥3.8	≥4.0

ウイルス含有量は、試料1mlあたりの値を対数変換して記載した。

インフルエンザウイルスに対する不活化効果試験

試験群	試験の 繰り返し	感作時間とウイルス含有量の推移		
		0	1	3（分）
対照群	1	3.5×10^4	1.4×10^5	1.0×10^5
	2	6.0×10^4	9.0×10^5	6.0×10^4
	3	8.0×10^4	8.5×10^5	1.1×10^5
	平均値	5.83×10^4	1.05×10^5	9.00×10^4
	対数変換値	4.77	5.02	4.95
10倍希釀試験液	1	<10 ²	<10 ²	<10 ²
	2	<10 ²	<10 ²	<10 ²
	3	<10 ²	<10 ²	<10 ²
	平均値	<10 ²	<10 ²	<10 ²
	対数変換値	<2.00	<2.00	<2.00
	LRV	>2.8	>3.0	>3.0
15倍希釀試験液	1	<10 ²	<10 ²	<10 ²
	2	<10 ²	<10 ²	<10 ²
	3	<10 ²	<10 ²	<10 ²
	平均値	<10 ²	<10 ²	<10 ²
	対数変換値	<2.00	<2.00	<2.00
	LRV	>2.8	>3.0	>3.0

ウイルス含有量は、試料1mlあたりの値を対数変換して記載した。

花粉対策・ダニアレルゲン対策データ

花粉対策データ

【Cry j 1】

設定濃度：100 ng/ml

実測値：144.12 ng/ml

サンプル名	No.	アレルゲン濃度 (ng/ml)	対照に対する 低減率 (%)
対照：精製水	1	146.28	—
	2	145.38	
	3	147.71	
安定型次亜塩素酸 ナトリウム	1	0.78	99.5
	2	0.78	
	3	0.78	

ダニアレルゲン 対策データ

【ダニアレルゲンDer F1】

設定濃度：100 ng/ml

実測値：141.93 ng/ml

サンプル名	No.	アレルゲン濃度 (ng/ml)	対照に対する 低減率 (%)
対照：精製水	1	137.39	—
	2	147.00	
	3	146.48	
安定型次亜塩素酸 ナトリウム	1	1.17	99.2
	2	1.17	
	3	1.17	